

宮崎県知事

河野俊嗣



知事略歴

昭和三十九年九月八日 広島県生まれ
 昭和六十二年三月 東京大学法学部卒業
 昭和六十三年四月 自治省入省
 平成五年四月 春日井市企画調整部長
 平成九年四月 埼玉県総合政策部
 市町村課長
 平成十年四月 埼玉県総合政策部
 まちづくり支援課長
 平成十一年四月 埼玉県総務部財政課長
 平成十六年四月 総務省自治税務局企画課
 税務企画官
 平成十七年四月 宮崎県総務部長
 平成十九年二月 宮崎県副知事
 平成二十三年一月 宮崎県知事に就任

一月二十一日付けで宮崎県知事に就任いたしました河野俊嗣です。よろしくお願いたします。昨年、本県で発生した口蹄疫につきましては、我が国の畜産を守るといふ強い決意の下、関係者の御尽力により県内で封じ込め、終息を迎えることができました。全国の皆様からの温かい励ましや御支援に心より感謝を申し上げます。今年こそは口蹄疫からの再生・復興を果たすという決意で歩み始めたところ、高病原性鳥インフルエンザの発生や新燃岳の噴火が相次ぎ、地域経済や県民生活に深刻な影響を及ぼしております。宮崎は再び厳しい事態に見舞われています。現在本県では、これら危機事象への対応を最優先に全力で取り組んでおりますが、このほかにも、経済・雇用対策や社会資本の整備、子育て・医療対策、中山間地域対策等の課題が山積しており、まさに正念場を迎えております。私は、これらの課題にしっかりと向き合い、県民の皆様や国、市町村、各種団体等との対話と連携を図りながら、一日も早く安全・安心な生活を取り戻すことができるよう、できうる限

りの対策を講じてまいりたいと考えております。幸い本県は、さまざまな困難を克服することで強くなった県民の「絆」に加え、温暖な気候や豊かな自然、彩り豊かな歴史風土、個性と魅力あふれる産業など、多くの潜在力に恵まれています。これらを最大限に生かし、県民の総力を結集して新しい宮崎づくりに取り組むことで、必ずや素晴らしい未来を切り拓いていくことができるかと確信しております。私は、これからの四年間を、その基礎づくりの期間であると考えております。

私は、三つの視点に立って、明日の宮崎の礎を築いてまいります。

一 産業・雇用づくり

本県を支える各産業が、地域の特色・資源を生かし、高い競争力を誇る力強い産業として成長していくことができるよう、環境・エネルギー分野や医療など新たな成長産業の育成や、農業の六次産業化、「食の王国みやざき」づくりを進めます。また、民間と行政が一体となった「オー

ルみやざき営業チーム」による観光・物産等の総合的な販売促進やアジア市場の開拓に努めるとともに、地域資源の発見と地域間交流を促進する「宮崎を知ろう!百万泊県民運動」の展開、高速道路等の物流ネットワークの高度化にも取り組めます。

二 人財づくり

明日の宮崎県づくりの原動力となるのは人の力であり、未来を担う子どもは地域の宝です。宮崎は「日本一の子育て・子育て立県」を目指します。

宮崎で生まれ育ち、生涯にわたり学びや経験等を重ねることによって、地域社会を支え、未来を切り拓く「人財」として活躍できるよう、地域全体で子育てを応援する環境づくりや、親子の絆を深める教育など「学び」の充実、女性や高齢者の活躍の場づくり、多様な主体による協働の推進などに努めます。

三 暮らしづくり

自助・共助・公助の原則の下、宮崎らしい豊かさを実感できる暮らしを実現するため、世代間交流や地域の絆づくりを推進するとともに、防災・危機管理体制の充実・強化や、自殺や犯罪、事故のないまちづくり、医師確保、ドクターヘリの導入、健康長寿社会づくり等、地域医療・福祉の充実等に努めます。

また、県と市町村との協議の場を活用しつつ、県から市町村への徹底した分権を推進し、九州各県との広域的な連携の推進等にも取り組んでまいります。

私は、六年前に赴任して以来、第九演奏会やトライアスロン大会に参加するなど、宮崎での生活を満喫する中で人情味豊かな県民性に触れ、宮崎は「第二のふるさと」となりました。愛する宮崎の希望に満ちた未来に向け、今後とも全身全霊で取り組んでまいります。